



◆ フランス次期大統領選挙、マクロン氏が勝利

- フランスの次期大統領選挙の決選投票が5月7日に実施され、中道系独立候補のマクロン氏が極右政党「国民戦線」のルペン氏に大差で勝利し、次期大統領に就任することが確実となりました。
- マクロン氏は、親欧州連合(EU)、自由貿易主義的な政策を掲げていること等から、今後EUやユーロ圏における統合の深化だけでなく、保護主義政策への傾斜が弱まり、市場の安定材料になるものと思われます。

【マクロン氏の次期大統領就任が確実に】

フランスの次期大統領選挙の決選投票が5月7日(現地時間)に実施され、中道系独立候補のマクロン氏が極右政党「国民戦線」のルペン氏に大差で勝利し、次期大統領に就任することが確実となりました。今後は、労働市場改革を中心とする経済政策に加え、テロ対策、国内の格差是正等の諸問題に対処していくことが必要となり、新大統領としての手腕が試されることとなります。

目先のフランス政局におけるポイントは、6月11日、18日に予定されている国民議会選挙において、マクロン氏率いる政治運動「前進」のみで過半数の議席を獲得出来るかどうかになっており、市場の注目が集まっています。

なお、マクロン氏の勝利は事前に市場で相応に織り込まれていたこと等を受けて、第1回投票後に比べると8日早朝のアジア為替市場の反応は限定的なものになっています。

【図表】各国政治イベント日程と注目ポイント

日程	注目ポイント
フランス大統領選挙 (4月23日、5月7日)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 4月23日の第1回投票の結果、中道系の独立候補マクロン氏と自国優先主義の極右政党「国民戦線」のルペン氏が決選投票進出。 ✓ 5月7日の決選投票では、マクロン氏がルペン氏に勝利し、仏史上最年少の大統領に就任予定。
6月8日 英国、解散総選挙	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2020年に予定されていた総選挙を前倒して実施。 ✓ メイ首相が掲げる「強硬離脱(ハードブレグジット)」について、国民からの信任を得ることで、政権基盤を安定・強化することが目的。
6月11日、18日 フランス国民議会選挙	<ul style="list-style-type: none"> ✓ マクロン氏率いる政治運動「前進」のみで議会の過半数の議席を獲得できるかどうか注目。 ✓ マクロン氏が大統領として政治・経済改革をスムーズに実行するためには、国民議会選挙で政治基盤を固めることが重要になる。
9月24日 ドイツ連邦議会選挙	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 11年に渡り政権を担ってきたメルケル首相率いる保守系与党連合「キリスト教民主・社会同盟(CDU・CSU)」とシュルツ氏率いる中道左派「社会民主党(SPD)」の支持率が拮抗。 ✓ メルケル政権が財政均衡を掲げるのに対しシュルツ氏は投資拡大を優先。 ✓ ただしフランス等と比べ、政権交代が起きてもポピュリズムが台頭するような状況は免れるものと予想。

出所：各種資料を基にドイチェ・アセット・マネジメント(株)が作成
※データは記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の投資商品の推奨や投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料記載の情報及び見通しは、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として記載したものであり、その銘柄・企業の株式等の売買を推奨するものではありません。
D-170508-2

■ レポートの作成・配信は

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

EURO EXPRESS

臨時レポート



ご留意事項

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

●投資信託に係る費用について

【お申込みいただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。】

- 購入時に直接ご負担いただく費用・・・購入時手数料 上限3.78%（税抜3.50%）
 - 換金（解約）時に直接ご負担いただく費用・・・信託財産留保額 上限1.0%
 - 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・運用管理費用（信託報酬） 上限2.0304%程度（税込）
 - その他費用・・・上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。
- 投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託の運用による損益は、すべて受益者に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

なお、当社では投資信託の直接の販売は行っておりませんので、実際のお申込みにあたっては、各投資信託取扱いの販売会社にお問合せ下さい。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第359号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、
一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会